

# 安全データシート (SDS)

## 1、製品および会社情報

製品名：スッキリ酸

用途：洗剤

会社名：株式会社タナカクリーン商事

住所：〒593-8316 大阪府堺市西区山田2-25-1

電話番号：072-271-3662

緊急連絡先：072-271-3662

作成：平成26年4月7日

## 2、危険有害性の要約

物理化学的危険性		健康に対する有害性	
GHS分類	区分	GHS分類	区分
火薬類	分類対象外	急性毒性（経口）	区分外
可燃性／引火性ガス	分類対象外	急性毒性（経皮）	分類できない
可燃性／引火性エアゾール	分類対象外	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
支燃性／酸化性ガス類	分類対象外	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
高圧ガス	分類対象外	急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	分類できない
引火性液体	区分外	皮膚腐食性／刺激性	区分1
可燃性固体	分類対象外	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1
自己反応性物質および混合物	分類できない	呼吸器感作性	分類できない
自然発火性液体	分類できない	皮膚感作性	分類できない
自然発火性固体	分類対象外	生殖細胞変異原性	分類できない
自己発熱性物質および混合物	分類できない	発がん性	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない	生殖毒性	分類できない
酸化性液体	分類できない	特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	分類できない
酸化性固体	分類対象外	特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	分類できない
有機過酸化物	分類対象外	吸引性呼吸器有害性	分類できない
金属腐食性物質	分類できない		
		環境に対する有害性	
		GHS分類	区分
		水生環境有害性（急性）	分類できない
		水生環境有害性（慢性）	分類できない

### ■ GHSラベル要素

シンボル



■注意喚起語：危険

■危険有害性情報

：重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

注意書き

■安全対策

- ・ ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・ 取扱い後は手をよく洗うこと
- ・ 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

■応急措置

- ・ 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
- ・ 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- ・ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
- ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

■保管

- ・ 施錠して保管すること。

■廃棄

- ・ 内容物、容器、廃液を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3、組成、成分情報

■単一物質・混合物の区別：混合物

化学式または一般名	化学式	官報整理番号	C A S - N o	安衛法番号	含有量 (%)
水	H <sub>2</sub> O			非該当	非開示
りん酸	H <sub>3</sub> PO <sub>4</sub>	(1) -422	7664-38-2	618	7~12
有機酸	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
グリコール系溶剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
フッ素系界面活性剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
非イオン界面活性剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
増粘剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
香料	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
染料	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示

### 4、応急措置

■吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師の診断を受ける。

■皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。直ちに医師の診断を受ける。

■眼に入った場合：直ちに、多量の流水で 15 分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断を受ける。

■飲み込んだ場合：被災者に意識のある場合は水を飲ませ、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診断を受ける。

意識のない場合は口から何も与えてはならない。また、吐かせてもならない。直ちに医師の診断を受ける。

### 5、火災時の措置

消火剤：耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類、水。

特有の危険有害性：火炎によって刺激性、腐食性または有毒ガスを発生することがある。加熱により容器が爆発するおそれがある。

特有の消化方法：火元への燃焼源の遮断する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。容器が熱に晒されている時は移さない。

安全に対処できるならば着火源を除去する。

消火を行う者の保護：適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6、漏出時

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：直ちに適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立ち入りを禁止する。密閉された場所に立ち入る前に換気する。

環境に対する注意事項：環境中に放出してはならない。

回収・中和：不活性材料（乾燥砂または土等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。

封じ込め及び浄化方法・機材：危険でなければ洩れを止める。

二次災害防止策：排水溝、下水溝、地下室あるいは密閉場所への流入を防ぐ。

7、取扱い及び保管上の注意

■取扱い

技術的対策：「8、暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気：「8、暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行う。

安全取扱注意事項：①適切な保護具（手袋、マスク、保護眼鏡等）を着用すること。

- ②取り扱い時には、液が皮膚や眼、口に付着しないように注意すること。
- ③一度容器から出した液は元の容器に戻さないこと。アルカリ性物質や他の洗剤類とは混合しないこと。
- ④屋内で使用する場合は換気に注意すること。
- ⑤用途以外には使用しないこと。
- ⑥取り扱いの都度、容器は密閉すること。
- ⑦容器の移動並びに開封時には注意して取り扱い、漏出や飛沫の飛散を防止すること。
- ⑧取り扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止すること。
- ⑦使用後は手洗いをよくすること。

接触回避：アルカリ性物質との接触を避ける。

■保管

小分け容器等は、内容液により腐食や溶解しない材質のものを選定する飲料用PET容器には保管しない。

保管条件：容器を密閉する。直接日光、40℃以上の高温、凍結の恐れのある場所を避け、換気の良い冷暗所に密閉、施錠して保管する。

8、暴露防止及び保護措置

管理濃度：未設定

許容濃度：りん酸：日本産業衛生学会（2007年版）1mg/m<sup>3</sup>

設備対策：この製品を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具 呼吸器の保護具：通常の使用では必要としないが、必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）を着用する。

眼の保護具：保護眼鏡を着用する

手指の保護具：ビニール手袋を着用する。

皮膚および身体の保護具：長袖作業着、必要に応じ保護服及び保護長靴を着用する。

9、物理的/科学的性質

色	無色～淡黄色
形状	液体
PH	1～2 (25℃)
粘度	データなし
比重	1.080±0.005 (25℃)
溶解度	水に任意に溶解
臭い	香料臭
凝固点	0℃以下
沸点	約 100℃
引火点	なし

## 10、安定性及び反応性

安定性：常温・常圧では安定。

危険有害反応性：アルカリ性物質と激しく反応し発熱する。多くの金属を溶解し、水素ガスを発生する。

避けるべき条件：直接日光、40℃以上の高温、凍結の恐れのある環境

混触危険物質：アルカリ性物質、金属

危険有害な分解生成物：乾燥物は、燃焼等によりCO、NO<sub>x</sub>などの有毒ガスを発生する恐れがある。熱により分解して有害なりんの酸化物を生成する。

---

## 11、有害性情報

急性毒性：経口：混合物判定理論LD50 推定値ATEmixが5,000mg/kg以上であるため区分外とした。

経皮：データ不足のため分類できない。

吸入：データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性／刺激性：区分1の成分を5%以上含むため区分1とした。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：区分1の成分を3%以上含むため区分1とした。

呼吸器感作性：データ不足のため分類できない。

皮膚感作性：データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性：データ不足のため分類できない。

発がん性：データ不足のため分類できない。

生殖毒性：データ不足のため分類できない。

特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）：データ不足のため分類できない。

特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）：データ不足のため分類できない。

吸引性呼吸器有害性：データ不足のため分類できない。

---

## 12、環境影響情報

水生環境有害性（急性）：データ不足のため分類できない。

水生環境有害性（慢性）：データ不足のため分類できない。

生態毒性：データなし

生態蓄積性：データなし

残留性・分解性：データなし

---

## 13、廃棄上の注意

残余廃棄物：産業廃棄物処理認定業者に特別管理産業廃棄物（廃酸）として委託し処理すること。

汚染容器及び包装：容器は清浄にしてリサイクルするか関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切に処理する。

---

## 14、輸送上の注意

国際規制

国連分類（Class）：クラス8

国連番号（UN No.）：3264

国内規制

陸上輸送：消防法、安衛法に定められている運送方法に従う。

海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件：容器の破損、腐食、漏出等がないことに注意・確認する。転倒、落下、破損がないような積載方法、荷崩れの防止を確実に行う。

緊急措置指針番号：7 項の「取扱い及び保管上の注意」を参照

15、適用法令

国内適用法令

- 消防法 : 該当しない
  - 労働安全衛生法 : 通知対象物質：(政令 第 316 号) (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)  
りん酸 (618 号)
  - PRTR 法 : 該当しない
  - 毒劇物取締り法 : 該当しない
  - 船舶安全法 : 腐食性物質
  - 航空法 : 腐食性物質
- 

\*危険性・有害性の情報は当社の最善の調査、評価にもとづいておりますが、必ずしも安全性を十分に保障するものではありません。化学物質の有害性には、予見できないこともあり、取り扱いには細心の注意を払って下さい。本品の適正な使用についてはご使用者の責任において使用くださいますようお願いいたします。